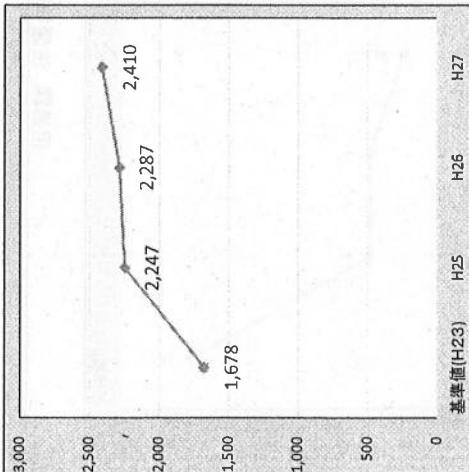
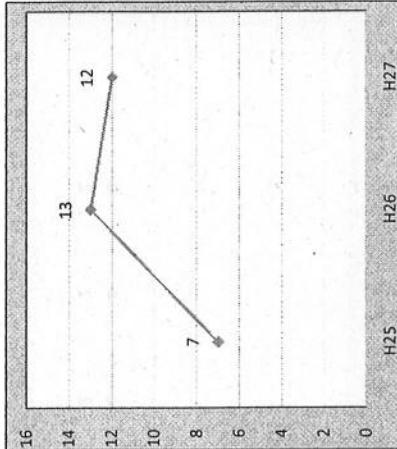
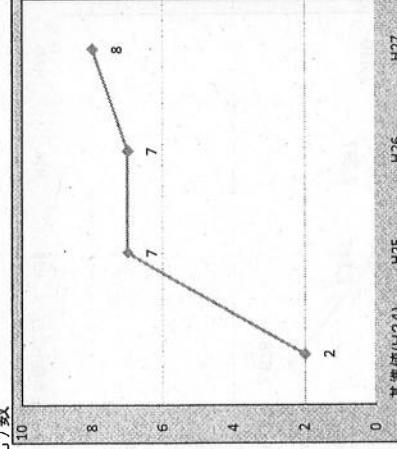
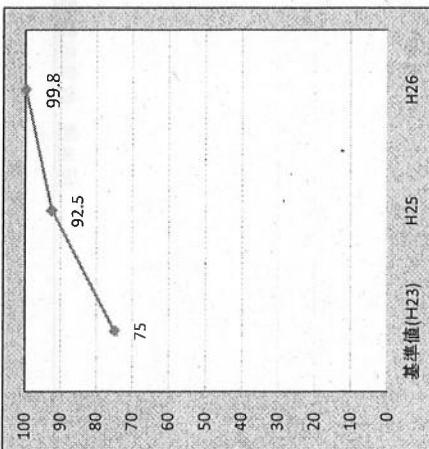
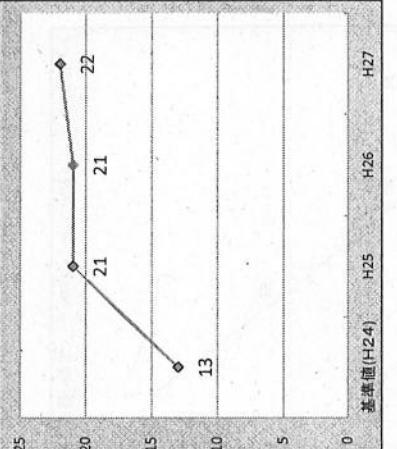


番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
	学校・家庭・地域の連携 読書活動を推進するイベントへの参加者数	事業目的 子どもの自主的な読書活動を推進するための環境整備を実施し、図書館や学校等の連携を進めることにより、子どもの読書活動を推進する。  取組状況 (H27年度分)	事業目的と平成27年度の取組状況 県立図書館において、定期的に県立図書館主催の「おはなし会」と、ボランティアによる「おはなし会」を開催するなどもに、子どもの読書活動への興味・関心を高める子どもたちの図書館見学等の行事も随時実施し、1,918名の参加があった。また、文部科学省委託事業として、子どもの読書活動推進「読書コミュニティ一拠点形成支援」「とくしま子を育む読書活動の意義や重要性について県民の理解、関心を深めることを目的に開催し、地域フォーラム5回、全県フォーラム1回を実施し、492名の参加があった。以上のイベント参加者数は、2,410人であった。 評価 (結果) 県立図書館での「おはなし会」の開催をはじめ、子どもたちの館内見学を積極的に行って、子どもたちが本・読書にふれあう機会を拡充した。 （課題）読書ボランティアとの協働による読書に関する活動の推進を図る必要がある。
48	学校・家庭・地域の連携の推進	事業目的 子どもの読書活動を推進するための環境整備を実施し、図書館や学校等の連携を進めることにより、子どもの読書活動を推進する。 担当課 生涯学習課	事業目的と平成27年度の取組状況 県立図書館での「おはなし会」の開催をはじめ、子どもたちの館内見学を積極的に行って、子どもたちが本・読書にふれあう機会を拡充した。 評価 （結果）県立図書館に対するコメントやイラストなどの作品を募集し、表彰することにより、子どもたちのブックリストへの関心を高めることができる。 （課題）読書ボランティアとの協働による読書に関する活動の推進を図る必要がある。
49	学校・家庭・地域の連携の推進	事業目的 学校、家庭、地域社会が一体となる人権教育の総合的な取組を教育委員会との連携・協力のもとで推進し、地域全体で人権意識を高い、人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にした教育の充実に資する研究を実施する。 担当課 人権教育課	事業目的と平成27年度の取組状況 総合推進地域の指定として、鳴門市と佐那河内村の2地域を指定して研究を実施した。 評価 （結果）総合推進地域では、教育委員会が学校と連携しながら地域全体で充実した取組を展開することができた。連絡協議会の開催研究の進め方や成果の検証・改善等を協議した。（第1回 7月13日 第2回 2月16日） （課題）総合推進地域への支援、研究成果等の普及については、更に工夫改善を行っていく必要がある。

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	施策・成果指標	事業目的	施策・成果指標	事業目的	
	家庭教育に関する学習機会を提供する講座数	家庭の教育力の向上	事業目的	家庭教育支援をめざす養成講座を実施し、地域において家庭の求めに応じた相談や情報提供などの支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。	事業目的	地域ぐるみの家庭の子育て支援の実現に向けて、受講生のコミュニケーションスキルをはじめとした子育て支援活動・技術の習得をめざす養成講座を実施し、地域において家庭の求めに応じた相談や情報提供などの支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。	事業目的	
50	幼稚学校・家庭成長を地域の連携の推進する取組の推進		取組状況(H27年度分)	平成23年度から保護者の身近な家庭教育支援者である祖父母世代を対象に、昔の子育ての知恵や、現在の子育て状況について学習する養成講座を開講した。講座内容に、子や孫との活動（レクリエーション）を取り入れるなど、より実践的な内容となるよう工夫した。平成27年度は6講座を開催し34人の受講があった。また、父親の家庭教育参画やワークライフガバナンス意識の高揚を図るために講座もを行い、19組42人の受講があった。	評価	(結果) 祖父母世代を対象とする講座の開講により、家庭教育の学び直しや家庭教育支援に意欲的な祖父母世代のニーズに対応することができた。また、父親の子育て講座を開講するなど、実践的な取組を行うことができた。	(課題) 市町村の家庭教育支援活動において、養成講座受講修了者を活用できるようガイドシス機能を高めていかなければならぬ。	取組方針
51	学校・家庭・地域の連携の推進		取組状況(H27年度分)	平成28年度から、新規事業家庭教育づくりプログラム事業」として、引き続き子育て世代にとつてより身近な祖父母と父親を対象に、昔の子育ての知恵の活用や父親の家庭教育参画について学習する。また、受講修了者の生涯学習情報ネットワーク指導者登録の促進、「家庭教育講座を開講し、家庭教育支援者を養成する。また、受講修了者の生涯学習情報ネットワーク指導者登録の促進、県教育委員会事業・主催講座での活動の支援を推進する。	評価	(結果) 活動事例24点、標語780点の応募があり、工夫ある取組が多く寄せられた。応募数も昨年に比べ急増しており、優秀者も目標値を超える8名を表彰することにより生活習慣確立の気運が高まった。	(課題) 活動事例、標語・キヤッヂフレーズとともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。また、活動事例の募集にも力を入れる必要がある。	取組方針

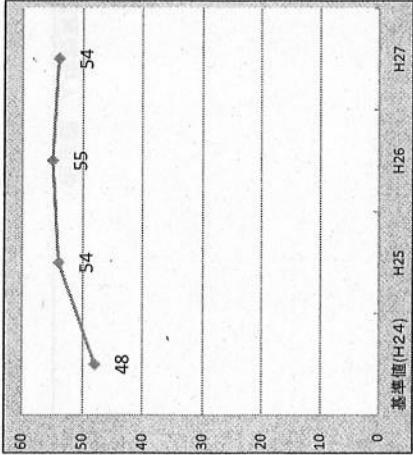
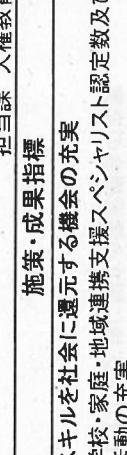
事業番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針							
			事業目的	取組状況(H27年度分)	評価	事業目的	取組状況(H27年度分)	評価	事業目的	
52	学校の応援団づくり 学校サポートーズクラブ設置市町村数	とくしまの教育力の活用	地域による学校支援をさらに促進するため、本県ならではの取組として学校サポートーズクラブ認証制度を推進し、「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部）」の運営団体の成立をめざし、認定証とフラップを認証する。	「小学校区又は中学校区」の婦人会、青年団、自治会、老人クラブ、ボランティアグループ等の地域団体を連合体として、地域で学校支援に取り組む組織である「学校サポートーズクラブ」として、平成27年度は新たに12クラブを認証し、認定証とフラップを授与した。このことにより、累計で24市町村74クラブとなった。	(成果) 全市町村74のクラブを認証した。学校地域支援本部と併せて、地域による学校支援活動の広がりをみせた。	(課題) 学校・家庭・地域が連携して学校支援活動を行うことが、地域の教育力向上につながることについて、市町村及び学校の理解を深め、認証クラブ数のさらなる拡充を図る必要がある。	今後の取組方針	認証クラブにおいて、これまで団体・グループが培ってきたノウハウを活かした地域の学校に対する学校支援活動の充実及び多様化・継続化を図るために、効果的な学校支援活動の方法等について情報提供などの支援を行う。また、実施市町村の推進にあたっては、施策を同じくする「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部事業）」と併せて展開するとともに、「放課後子供教室推進事業」と連携する中で、家庭及び地域の教育力の定着・向上を目指す。	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
53	担当課 生涯学習課	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり 「県立学校地域開放プラン」の展開	県立学校において、学校の特色を活かした地域貢献活動の取組を促進する。	学校が主導となって地域に開放する行事イベント等、すべての県立学校において実施した。 ・公開授業などの学校開放事業（人権、教育関係講演会、地域防災行事、清掃奉仕活動等）	(課題) 学校が実施する地域開放、地域貢献活動により、県民の教育に対する理解を深め、学校教育の振興への意図醸成に貢献できた。	今後の取組方針	(成果) 学校が実施する地域開放、地域貢献活動により、県民の教育に対する理解を深め、学校教育の振興への意図醸成に貢献できる。	担当課 教育政策課	

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針
54	開かれた学校づくり 学校評価(学校関係者評価)結果を広く公表している 学校の割合	 とくしまの教育力の活用	事業目的 取組状況(H27年度分)	<p>学校における評価の目的は、各学校が組織的・継続的な改善を図り、学校評価結果を公表することである。</p> <p>このことから、公立の幼稚園、小・中・高及び特別支援学校における学校評価結果について、学校便りや学校のホームページへの掲載等の方法により、保護者や地域住民等に対して広く内容が周知され、学校の現状と課題について共理解を深めて相互の連携を促し、地域とともにある学校づくりに資する。</p> <p>3年に一度実施される文部科学省による調査として平成26年度間ににおける学校評価の実施状況を調査した。調査結果は、県のホームページに掲載するとともに、全国調査との比較検討及び市町村教育委員会及び各学校に通知し、学校評価の充実改善の取組を促した。</p> <p>平成27年度間における学校評価の実施状況については、平成28年度に調査する予定である。</p>
55	開かれた学校づくり コミュニティ・スクールモデル校数(累計)	 とくしまの教育力の活用	事業目的 取組状況(H27年度分)	<p>事業目的は、保護者や地域住民が、一定の権限と責任を持つて学校運営に参画し、より良い教育の実現を目指すため、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくり(学校運営協議会制度)を推進するものである。</p> <p>東みよし町全ての中学校、伊座利小学校、由岐中学校伊座利分校及び真光中学校(新規校)がモデル校として事業に取り組んだ。また、年度末には貞光小学校、宍喰小学校及び宍喰中学校が平成28年度の本事業のモデル校として計画された。</p>

番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況 評価、今後の取組方針								
		開かれた学校づくり	NIPPON探求スクール事業実施校(累計)		基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)		
56	社会色あるまち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)	「スーパークリーワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)	25	事業目的	本事業は、各校の先進的な体験活動を通して、特色ある教育活動のレベルアップとグローバル人材の育成を図るため、全国そして世界を目指した徳島ならではの学校独自の事業を支援することにより、激動の社会を取り巻く「スープラーナリーワンハイスクール事業」を育成する。	0	4	10	13		92.9%	14	22
57	社会色あるまち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)	「NIPPON探求スクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)	5	取組状況(H27年度分)	【全国展開枠】徳島北高校「Kitako Hyper Global Project ~グローバル人材の育成を目指して~」 阿南工業高校「あこうバンブーミクスで地方創生」 那賀高校「共創郷育」～学校と地域を活性化～ 【全国展開枠及びグローバル展開枠】 つるぎ高校「にし阿波創生！農工商連携プロジェクト～Mimakara魅力を大発信～」 の4校が実施校として認定され、学校独自の計画に沿って1年間を通じた活動を実践した。 (単位：事例)	0	1	2			100.0%	2	3
				評価	(成績) 全国規模の発表会やコンクールへの参加を義務づけたことにより、各校は、全国そして世界へ活動を発信できるようになり、多種にわたる大会等へ積極的に応募するところとともに、各分野で全国大会への出場を果たしました。また、実績を残したことで、次年度以降の意欲高揚に繋がることができた。 (課題) 全国大会出場権獲得のための、県予選や中国・四国予選で惜しくも出場権を逃したケースも多い。また、活動の成績に關係するコンクールへの応募があつたが、入賞等の成績が残せなかつた。今後は、その取組の評価について検討する。 書類審査のみで実施校を決定する「チャレンジ」実施校枠を設け、実施校数を從来の4校から6校に増やしている。また、「グローバル」実施校は、海外での往来選考されなかつた学校が活動することことで、事業の活性化が期待できる。また、「グローバル」実施校は、海外での活動を2年間の継続とすることで、全国大会やコンクールでの入賞を支援する。	基準値(H24)	H25	H26	H27				
				今後の取組方針	従来選考されなかつた学校が活動することことで、事業の活性化が期待できる。また、「グローバル」実施校は、海外での活動を2年間の継続とすることで、全国大会やコンクールでの入賞を支援する。	基準値(H24)	H25	H26	H27				
				担当課 学校教育課									
番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況 評価、今後の取組方針								
		開かれた学校づくり	NIPPON探求スクール事業実施校(累計)		基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H28)
		「NIPPON探求スクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)	5	事業目的	本事業では、我が国と郷土を愛し、他国を尊重する態度と心を育成するため、主として明治から昭和における歴史を紐解き、各時代における世界の中の「NIPPON」、日本の中の徳島の政治・経済・外交を探究する学校を育成するとともに、生徒自身が「公共」について考える機会を設ける。	0	0	1	2		100.0%	2	3
				取組状況(H27年度分)	認定校2年目の海部高等学校が、第9回全国高校歴史フォーラムに応募し、佳作（全国6位相当）となつた。認定校1校目の池田高校は、「明治から昭和初期の養蚕・製糸からみた徳島の政治・経済」をテーマに、徳島の政治・経済の研究だけでなく、養蚕研究の専門家や養蚕家の方を講師に実際に蚕を飼育しながら当時の工夫を科学的な研究を実施し、ホームページ等で公表している。	基準値(H24)	H25	H26	H27				
				評価	(成績) 海部高等学校は、長崎、大阪、神戸等でのフィールドワークや県立文書館、大学等との連携のもと、全国高校歴史フォーラムに応募し、全国165校のうち6位相当となつた。池田高等学校は、取組1年目であるが、文献調査だけではなく専門家からの助言を受け取り組むなど、文理融合のアプローチを実施し、積極的に情報発信を行つた。 (課題) 人文科学分野の調査研究手法の指導や生徒の歴史的思考力等を培う指導を行う必要があるため、地理歴史科(公民科)教員の積極的な参画を促す必要がある。	基準値(H24)	H25	H26	H27				
				今後の取組方針	「スーパークリーワンハイスクール事業」とともに生徒活動発表会を開催し、活動パネル展を開催するなど、各学校の取組に対する広報等について推進する。次年度に向けて取り組む。	基準値(H24)	H25	H26	H27				
				担当課 学校教育課									

番号	推進項目	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	施策・成果指標					
			施策			成果		
58	幼児期の成長を支える取組の推進	「徳島県幼児教育振興アクションプランⅡ」に基づき、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながる観点からの幼児教育の充実、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を構築することにより、幼児の日々の生活の連続性を踏まえた教育活動を実現するなどとともに、園と小学校との連携による連続性を生かしたネットワークを構築する。認定こども園、地域社会の教育力を取り組む。	事業目的 事業目的は、幼稚園と保育所・認定こども園と小学校との連携を推進するなどとともに、園と小学校との連携による連続性を生かした教育活動を実現するなどとともに、園と小学校との連携による連続性を生かした教育活動を実現する。	基準値 - 推進 推進	H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H29)	基準値(H27) 目標値(H29)	推進 推進	
59	幼児期の成長を支える取組の推進	「徳島県幼児教育振興アクションプランⅢ」に基づき、家庭生活との連続性を図った頃か、児童の心身が心身の安定を保ち、無理なく過ごせるように、個に応じた保育内容や環境への工夫・改善等の質的向上を図ることを推進する。 「徳島県幼児教育振興アクションプランⅢ」において預かり保育の充実を図ることを目的としている。保育記録等の活用を通じて一人一人の児童の状態を把握し、学校訪問において預かり保育の実施状況を把握し、幼稚園教育要領に基づいた指導・助言を行うとともに、各種研修において、幼児一人一人の生活リズムを考慮した柔軟な保育と指導計画の作成等について指導した。 幼稚園設置市町に対して預かり保育に関する実態調査を行い、現状把握とともに、幼稚園設置市町への情報提供を行った。	事業目的 事業目的は、幼稚園における教育課程に係る教育時間の終了後等に、地域の実態や保護者の要請に応じて、保育の充実を図ることを目的としている。保育記録等の活用を通じて一人一人の児童の状態を把握し、学校訪問において預かり保育の実施状況を把握し、幼稚園教育要領に基づいた指導・助言を行うとともに、各種研修において、幼児一人一人の生活リズムを考慮した柔軟な保育と指導計画の作成等について指導した。	基準値 - 推進 推進	H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H27) 目標値(H29)	基準値(H27) 目標値(H29)	推進 推進	

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
	生涯学習の視点に立った人権教育の充実 人権の視点に立ったサークル活動や交流の回数	事業目的 人権の視点に立った活動をしている大学生のサークル等が、交流・活動するなかで青年層の人権意識の高揚を図ることで人権教育の推進に資する。 事業目的 大学生のサークル等による青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を行った。大学との緊密な連携を中心、4大学6サークルが幅広い要請に応じた交流活動を実施した。	事業目的 人権の視点に立った活動をしている大学生のサークル等が、交流・活動するなかで青年層の人権意識の高揚を図ることで人権教育の推進に資する。 事業目的 大学生のサークル等による青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を行った。大学との緊密な連携を中心、4大学6サークルが幅広い要請に応じた交流活動を実施した。 (単位：回) 取組状況(H27年度分) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>70.0%</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> 評価 (成果) 人権の視点で活動しているサークルを、主に児童・児童の児童の人権意識の高揚を図った。 (課題) 要請数は多くあつたが、日程が合わなかつたり、大学の授業等と重なつたりして、十分に活動できなかつた。 今後の取組方針 これまでの経験を最大限に生かして、大学サークルの相互交流と子どもたちとの交流の充実に努める。また、市町村教育委員会、各学校(園)に対し、それぞれの既存の行事等にこの事業の活用を広めていきたい。 (単位：回)	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	目標値(H29)	5	7	7	7			70.0%	10	15
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	目標値(H29)													
5	7	7	7			70.0%	10	15													
60	社会教育における人権教育の充実	担当課 人権教育課	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針 事業目的 同和問題をはじめ様々な人権問題の解決と識字学級相互の交流及び学校や社会教育団体等との交流活動を積極的に推進するとともに、社会啓発活動の促進を目的とする。 事業目的 5市1町16学級の識字学級が活動している。識字学級では、文字の習得のみにとどまらず、生活や文化を豊かにするための学習内容を盛り込むなどの生涯を見通した取組が行われている。また、識字学級、学校、社会教育団体等との交流活動、さらには、外国人や障がい者等の参加に伴つて、同和問題をはじめ様々な人権問題についての学習が行われており、人権啓発展等での成果の発表・展示も行つた。 (単位：回) 取組状況(H27年度分) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> 評価 (成果) 文字の習得に加えて、生活や文化を豊かにする取組や学校や識字学級間、学校、社会教育団体等との交流が行われた。識字学級生作品展示では、一年間の活動の成果を作品として表現し、各識字学級同士の交流と県民への啓発につながる展示会となつた。 (課題) 児童生徒等との交流を図り、識字学級に対する理解を深めるとともに、教職員、高齢者や外国人の方など、識字学級の参加者は共学者として、相互に学び合うという姿勢を大切にしているため、今後も活動に対する理解をもつた参加者を増やしていくことが重要となる。 今後の取組方針 今後とも生涯にわたる学習機会への充実について支援を行うとともに、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決に向けての理解を深めるために、学校や社会教育団体等との交流を積極的に実施し、活動の更なる充実を図っていく。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	目標値(H29)	-	推進	推進	推進				推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	目標値(H29)													
-	推進	推進	推進				推進	推進													
61	社会教育における人権教育の充実	担当課 人権教育課																			

番号	推進項目	事業目的	施策・成果指標		事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																						
			人権教育推進者の養成 社会教育における人権教育推進者の養成数		徳島県人権教育推進方針に基づき、社会教育における指導者研修会を実施する。																						
62	地域の教育に貢献する人材の育成	事業目的			<p>社会教育における人権教育を推進するため、市町村から推薦のあった推進担当者55名を対象として2日間の継続研修を実施した。「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育や人権教育推進者の基準点でのまちづくりの講演、市町村における取組についての情報交換を行うとともに、体験的参加型による研修を行い、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <table border="1" data-bbox="366 316 473 1335"> <caption>基準値(H24) (単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>54</td> <td></td> <td></td> <td>108.0%</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 6月に「社会教育における人権教育指導者研修会」を2回開催し、外部有識者の意見を頂き、各市町村の諸事業推進に役立つことができた。また、体験的参加型による研修を実施し、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <p>(課題) 研修会参加者の経験年数にばらつきがあり、研修内容の工夫改善が必要である。また、各市町村の諸事業にどのように反映したかを把握するために、情報を更に共有できる研修会を実施していく。</p>					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	目標値(H29)	48	54	55	54			108.0%	50	50
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	目標値(H29)																			
48	54	55	54			108.0%	50	50																			
63	地域の教育に貢献する人材の育成	事業目的	スキルを社会に還元する機会の充実 学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト認定数及び活動の充実		<p>毎年約50名の推進者が参加しているが、研修の成果を広めることができるように、研修の成果を広めることができるように、研修や体験的参加型研修の内容を充実し、社会教育における人権教育推進をかけるとともに、個別人権課題についての研修や体験的参加型研修の内容を充実し、社会教育における人権教育推進を図ることとするなどして、計画的な推進者の確保につなげる。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>担当課 人権教育課</p> <p>事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校・家庭・地域連携支援スペシャリストとして養成した「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」を、小学校区に派遣する。</p> <p>養成した「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」を、学校・家庭・地域などをつなぐ役割を担うキーパーソンとして、牟岐町や、鳴門市における防災訓練等、8箇所、延べ27名を派遣した。</p>																						
		取組状況(H27年度分)			<table border="1" data-bbox="949 316 1056 1335"> <caption>基準値(H24) (単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 地域の防災、減災をテーマとして、地域住民および児童・生徒とともに「避難所設営」「非常食調理」「防災紙芝居」などの実践的な研修活動を支援することで、世代間交流を図ることができた。</p> <p>(課題) 県内防災生涯学習の拠点小学校への派遣において、地域の特性に応じたスペシャリストを選定し派遣することが重要である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>担当課 生涯学習課</p>					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	目標値(H29)	14	41	41	41				スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H29)	目標値(H29)																			
14	41	41	41				スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実																			

基本方針4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現

施策・成果指標

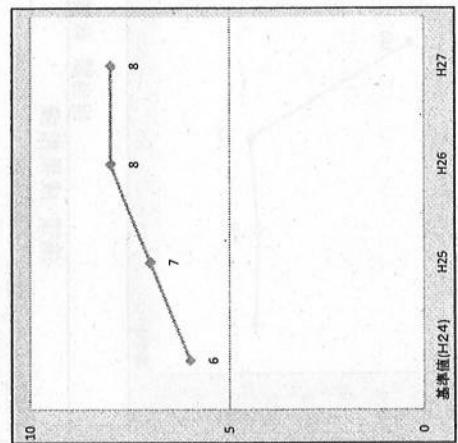
番号	推進項目	事業目的	事業取組状況(H27年度分)	評価	事業取組状況(H27年度分)	評価	事業取組状況(H27年度分)	評価																																					
64	多様なニーズに対応した学習機会の提供	マナビセンターの利用者数	<table border="1"><caption>マナビセンターの利用者数</caption><thead><tr><th>基準値(H23)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H27)</th><th>目標値(H27)</th><th>目標値(H29)</th></tr></thead><tbody><tr><td>46,877</td><td>48,069</td><td>49,997</td><td>50,819</td><td></td><td></td><td>101.6%</td><td>50,000</td><td>52,000</td></tr></tbody></table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	46,877	48,069	49,997	50,819			101.6%	50,000	52,000	マナビセンターは、本県の生涯学習の拠点として、生涯学習推進の場を提供するとともに、各種研修や講座の開催により、県民のライフステージに応じた多様な学習機会の場を提供する。	マナビセンター内の「図書コーナー」や「視聴覚ライブラリー」等の6つのコーナーの機能を十分に生かせるよう運営に努めることとともに、書籍の配置換えや模様替えを適宜行い、来所者の増加を目指した。また、来所に繋がる情報発信も定期的に行つた。	(成果) 購入した図書や視聴覚教材の周知や各月のおすすめ図書・おすすめ映像等による新規講座等によるまばらな利用者増加など、一定の成果を上げることができた。 (課題) 限られた予算の中で、新規の図書や視聴覚教材を県民のニーズに合わせて有効に購入することが必要である。	図書コーナーや視聴覚ライブラリー、交流コーナーなど、マナビセンターの特設機能を十分に生かすることで、来所者の増加に繋げていく。	図書コーナーや視聴覚ライブラリー、交流コーナーなど、マナビセンターの特設機能を十分に生かしたことにより、来所者の増加に努めた。																			
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																																					
46,877	48,069	49,997	50,819			101.6%	50,000	52,000																																					
65	学びの環境の充実	担当課 総合教育センター	<table border="1"><caption>文化の森総合公園文化施設の充実</caption><thead><tr><th>基準値(H23)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H27)</th><th>目標値(H27)</th><th>目標値(H29)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1,702</td><td>1,839</td><td>1,909</td><td>1,989</td><td></td><td></td><td>100.6%</td><td>1,977</td><td>2,114</td></tr></tbody></table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	1,702	1,839	1,909	1,989			100.6%	1,977	2,114	文化の森総合公園文化施設において、文化や芸術に直接触れ合う機会の充実を図り、多くの県民に足を運んでいたため、文化の森総合公園文化施設における新鮮で魅力ある事業を実施する。	平成27年度は、文化の森総合公園文化施設において、大型企画展を開催したほか、文化の森各館において様々な企画展や県内外の多くの方々に親しまれるイベント等を実施した。 ・博物館 企画展 2回 特別陳列 1回 ・近代美術館 特別展 2回 ・鳥居龍藏記念博物館 企画展 1回 ・季節イベントとして、「文化の森 こどもの日フェスティバル」、「文化の森 ウィンターフェスティバル」、「文化の森サマーフェスティバル」、「文化の森大秋祭り!!」、「文化の森 ヴィンターフェスティバル」を開催	企画展 1回 ・鳥居龍藏記念博物館 企画展 1回 ・季節イベントとして、「文化の森 こどもの日フェスティバル」、「文化の森 ウィンターフェスティバル」、「文化の森サマーフェスティバル」、「文化の森大秋祭り!!」、「文化の森 ヴィンターフェスティバル」を開催	<table border="1"><caption>文化の森総合公園各文化施設入館者総計(累計)</caption><thead><tr><th>基準値(H23)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H27)</th><th>目標値(H27)</th><th>目標値(H29)</th></tr></thead><tbody><tr><td>0</td><td>500</td><td>1,000</td><td>1,500</td><td></td><td></td><td>100.6%</td><td>1,977</td><td>2,114</td></tr></tbody></table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	0	500	1,000	1,500			100.6%	1,977	2,114	魅力的な企画展やイベントを実施し、多くの来館者を集めることができた。特に「美の饗宴」(4/29～6/21)では、3万人以上の来館者を集めることができた。秋の「フィギュア展」や「阿波木偶箱まわし」などヒトガタをテーマにした企画展では、新たな文化鑑賞の機会を提供するなど、来館者的好評を得た。 (課題) 学術的、専門的活動に基づく資料の収集、展示を引き続き実施するとともに、更に多くの県民に来館してもらうための新たな創意工夫に努める必要がある。	効果的な資料の収集に努めるとともに、季節イベント等で体験型の催しを増やす等、県民目線に立った企画の実施に取り組む。また、民間や他の博物館・美術館等と連携することにより、スケールの大きな企画展の開催を実施する。
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																																					
1,702	1,839	1,909	1,989			100.6%	1,977	2,114																																					
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)																																					
0	500	1,000	1,500			100.6%	1,977	2,114																																					

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
	学びの環境の充実	ライフステージ等に応じた学習環境の充実 ライフステージ等に応じた講座や催し物の提供	<p>市町村教育委員会が公民館等で実施することにより、社会教育・生涯学習事業及び講座の充実を図る。</p> <p>市町村教育委員会を対象に「市町村社会教育実態調査」を行った。対象者、内容、取組事例などについて、公民館などで実施する社会教育・生涯学習事業・講座開設の状況を把握することができた。冊子及びPDFデータを市町村教育委員会及び県内教育関係機関に配布したほか、県ホームページで提供し、社会教育・生涯学習の推進に寄与した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>年代別のニーズの調査・研究</td> <td>年代別のニーズの調査・研究</td> <td>ライフステージに応じた学習機会の充実</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ライフステージに応じた学習機会の充実</td> <td>ライフステージに応じた学習機会の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 地域の社会教育・生涯学習の状況とニーズを把握し、結果をファードバックすることができた。</p> <p>(課題) 地域により学習のニーズは大きく異なっており、満足度の高い学習機会の提供をすることが求められている。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	—	年代別のニーズの調査・研究	年代別のニーズの調査・研究	ライフステージに応じた学習機会の充実				ライフステージに応じた学習機会の充実	ライフステージに応じた学習機会の充実
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
—	年代別のニーズの調査・研究	年代別のニーズの調査・研究	ライフステージに応じた学習機会の充実				ライフステージに応じた学習機会の充実	ライフステージに応じた学習機会の充実													
66	担当課 生涯学習課	評価	<p>引き続き、市町村に対する「市町村社会教育実態調査」を行う。調査結果は市町村教育委員会及び社会教育委員会への冊子の配布に加え、広くホームページで公開し、社会教育・生涯学習事業の活用に努める。</p> <p>今後の取組方針</p>																		
	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	<p>学芸員等専門職員が学校で出前授業を行うことにより、子どもたちの郷土に対する理解を深める。</p> <p>学校からのお依頼に応じて、講師を派遣した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>博物館</th> <th>文書館</th> <th>近代美術館</th> <th>鳥居龍藏記念博物館</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47回</td> <td>4回</td> <td>1回</td> <td></td> <td>49回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 子どもたちが郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができた。平成26年度は、美術館になじみの少ない世代に向けて積極的に働きかけることを目的に、美術館の学芸員等が特に多くの保育所等の出前授業を実施したため、平成27年度は、対前年比の派遣回数は減少するものの、目標値は達成している。</p> <p>(課題) 博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍藏記念博物館の保有する資料を活用し、学校等での郷土の学習を推進することが求められている。</p>	博物館	文書館	近代美術館	鳥居龍藏記念博物館	回数	47回	4回	1回		49回								
博物館	文書館	近代美術館	鳥居龍藏記念博物館	回数																	
47回	4回	1回		49回																	
67	担当課 文化の森振興本部	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	<p>文化の森各館の所蔵する資料の貸出や学芸員等の講師派遣をより一層進め、学ぶ機会の充実を図る。</p> <p>今後の取組方針</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>107</td> <td>116</td> <td>101</td> <td></td> <td></td> <td>144.3%</td> <td>70回以上</td> <td>70回以上</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	100	107	116	101			144.3%	70回以上	70回以上
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)													
100	107	116	101			144.3%	70回以上	70回以上													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針													
			事業目的	保存団体の活動を支援するなどして、県民が伝統文化に触れ、体験する機会を充実させ、本県が誇る伝統文化の継承と活用を図る。												
68	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	伝統文化の継承と活用 保存団体による懸承・活用事業の開催への支援	取組状況(H27年度分)	教育文化課に事務局を置く徳島県地域伝統文化総合活性化委員会が、次世代を対象に「あわ民俗芸能フォーラム」を開催した。	(成果) 「阿波人形じよううり伝承教室」の継続実施により、伝統文化の次世代の担い手を育成することが促進することができた。また、吉野川市の「あわ民俗芸能フォーラム」開催により、県西部において伝統文化の公開を促進することができた。 (課題) 「阿波人形じよううり伝承教室」については、修了後の活動の効果的な支援が課題である。また、より一層伝統文化の公開を促進する手法の確立が求められている。	評価	基準値(H25) -	H26 推進	H27 推進	H28 -	H29 -	達成率(H27) -	目標値(H27) -	目標値(H29) 推進	推進	
69	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	伝統文化の継承と活用 ふるさと人材バンクの登録人数	取組状況(H27年度分)	国の「文化遺産を活かした地域活性化事業」「伝統文化親子教室事業」等を活用し、伝統文化の継承・活用事業を継続する。特に「阿波人形浄瑠璃」や「藍染め」の次世代継承者による公開活用事業を推進し、より一層育成の充実を図る。	(成果) 「ふるさと文化人材バンク」に登録してもらいたい、計画的に登録人數の増加に努めるとともに、学校においてふるさと徳島の文化に触れる機会を増やすことで、ふるさとを愛し、将来徳島の魅力について県内外で発信できる次世代の創造をめざす。 (課題) 各学校に「ふるさと人材バンク」の活用を周知するとともに、1年を通じて「ふるさと人材バンク」への追加登録に努めた。また、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。	評価	基準値(H24) 60	H25 72	H26 69	H27 72	H28 -	H29 -	達成率(H27) 101.4%	目標値(H27) 71	目標値(H29) 75	目標値(H29) 75
		担当課 教育文化課														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	
			事業目的	国指定文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。
70	文化遺産を活用した学びの場づくり	文化財の保存と活用 史跡等指定・選定数(追加指定を含む)	事業目的 取組状況(H27年度分)	1 藍住町の「勝瑞城館跡」、阿南市の「かも道」が追加指定された。 2 岡門市が「鳴門板野古墳群」「一宮道」として国史跡追加指定に向けた意見提出を行った。 (成績) 藍住町・阿南市と連携し追加指定に向け取り組んだ結果、2件の追加指定が実現した。
			評価	(課題) 順次、指定・選定を進めることで、市町村が行う地権者との指定・選定範囲の確定の調整等を支援する必要がある。
			今後の取組方針	指定に向け準備が整った史跡等に関しては、文化庁及び関係市町村と調整を図りながら、順次、指定・選定を進めていく。
71	文化遺産を活用した学びの場づくり	担当課 教育文化課	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針	国指定・県指定等の文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。
		文化財の保存と活用 国・県指定文化財件数	事業目的 取組状況(H27年度分)	1 県立埋蔵文化財総合センター所蔵の「徳島県観音寺・敷地遺跡出土品」が重要文化財(考古資料)に、上板町の「戸田家住宅」が重要文化財(建造物)、三好市の「大歩危」が国名勝に指定された。また、阿波市で「野神の大セシダン」の国天然記念物追加指定、その他国史跡2件の追加指定が実現した。 2 県指定についてでは、市町村と連携し、新指定への取組を進めた。その結果、阿南市の海正八幡神社の祭礼について、無形民俗文化財に指定することが文化財保護審議会から答申された。
			評価	(課題) 国指定は目標に到達し、県指定・県指定とも、適切に文化財を保存することができた。
			今後の取組方針	(課題) 国指定等については、調査が終了したものとの地権者との指定・選定範囲の調整等が進まないことが多い。県指定については、保持者死亡のため無形文化財2件を解除した。 貴重な文化財を後世に伝え、活用していくため、文化庁・市町村等と連携し、新指定を進めていく。県指定については、文化財保護審議会の審議を進め、指定を進めていく。

番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針									
		基準値	実績		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)		
72	文化財の保存と活用 文化財防災方策の実施	南海トラフの巨大地震等の災害から、貴重な文化財を守る。	国の「文化遺産を活かした地域活性化事業」を活用し、文化財個別カルテの作成を進めた。	事業目的								(単位：－)		
	取組状況(H27年度分)	文化財個別カルテの作成	文化財個別カルテの作成	基準値	－	文化財個別カルテの作成	文化財個別カルテの作成	文化財個別カルテの作成	文化財個別カルテの作成	文化財個別カルテの作成	文化財個別カルテの作成	文化財防災対策の充実		
	評価	(成果) 建造物・美術工芸品、有形民俗文化財について「文化財個別カルテ」の作成を進めたことで、迅速な被害状況の把握と保全・復旧に対する備えを行うことができた。	(課題) 文化財所有者の防災意識の醸成に、継続的に取り組む必要がある。											
	今後の取組方針	市町村教育委員会、文化財所有者等と協力し、文化財防災対策を進めいく。												
番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針									
		担当課	教育文化課		事業を実施または計画している国指定史跡や県・市町村史跡及び、周辺の様々な指定文化財や埋蔵文化財を含む未指定文化財を結び、これを夢のあるストーリーを持つ「群」として位置づけ、各地の博物館、資料館等とリンクさせることによって活用価値を高め、文化財を活かした地域振興に寄与する。									
73	文化遺産を活用した学びの場づくり	いにしえ夢街道 活用ゾーン設定数(累計)		事業目的	1 吉野川市立川島中学校において、美馬市・吉野町・阿南市活用ゾーンの主題である「遍路道」周辺の史跡の活用を図るために、阿南市音杉山遺跡を題材に講演会「朱を考古学する」を開催した。 2 各ゾーン間の連携を図るために、活用ゾーンを結ぶ「遍路道」を舞台に「遍路道ウォーキング」を実施しているが、今年度は、神山町の「一宮道」においてウォーキングイベントを開催した。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)
	取組状況(H27年度分)			基準値	6	7	8	8		100.0%	8	8		
	評価	(成果) 既設定ゾーンの活用を図るとともに、各ゾーンをつなげる取組である「遍路道ウォーキング」を実施することができた。	(課題) 各ゾーンにおける文化財等の保護と活用を図るために、各市町村が進めるゾーン内の史跡等の活用を支援する必要がある。											
	今後の取組方針	ゾーンの定着化をめざすため、各市町村にゾーン内の史跡等の活用について具体的な活動事例を示すとともに、ボランティアの養成及び資質向上等を支援していく。												
	担当課	教育文化課												



番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
	74 文化遺産を活用した学びの場づくり	いにしえ夢街道 いにしえ講演会参加人数	事業目的 事業目的 取組状況 (H27年度分)	<p>県内の史跡・文化財についての講演会を開催することとともに、県民による文化財の活用を進めます。</p> <p>美馬市・吉野川市活用ゾーン内の市立川島中学校において、活用ゾーンの主題である古代寺院について出張講演会を実施するとともに、勝浦町・阿南市活用ゾーンの主題である「通路道」周辺の史跡の活用を図るため、阿南市若杉山遺跡を題材に講演会「朱の考古学する」を開催しました。</p>																		
			評価 基準値(H24) 130	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>130</td> <td>134</td> <td>123</td> <td>340</td> <td></td> <td></td> <td>226.7%</td> <td>150</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	130	134	123	340			226.7%	150	150
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)														
130	134	123	340			226.7%	150	150														
			(課題) 資源としての文化財の活用につなげることができ、文化財保護意識の向上や地域	(成果) 「いにしえ夢街道」活用ゾーン内の関連史跡の情報発信を促進することができる。																		
			評価 基準値(H24) 130	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>130</td> <td>134</td> <td>123</td> <td>340</td> <td></td> <td></td> <td>226.7%</td> <td>150</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	130	134	123	340			226.7%	150	150
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)														
130	134	123	340			226.7%	150	150														
			(課題) 参加者のニーズを把握するとともに、「活用ゾーン」の今後の活性化につながる企画を検討する必要がある。	(成果) 参加者のニーズ把握に基づいた講演会内容の検討を行うとともに、「活用ゾーン」の活性化につながる企画を進める。																		
			評価 基準値(H24) 130	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>130</td> <td>134</td> <td>123</td> <td>340</td> <td></td> <td></td> <td>226.7%</td> <td>150</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	130	134	123	340			226.7%	150	150
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)														
130	134	123	340			226.7%	150	150														
			今後の取組方針	事業目的と平成27年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
		担当課 教育文化課	事業目的 事業目的 取組状況 (H27年度分)	<p>市町村教育委員会の生涯学習及び社会教育担当者や社会教育指導員を対象とした研修会や事業説明会を実施し、職員のスキルアップを図ることとともに、県と市町村の連携を強化する。</p> <p>第56回全国社会教育研究大会徳島大会の成果を受け、徳島県社会教育研修大会を実施し、事例報告・講演会・ワークショップの取組により、社会教育推進の機運を高め、ネットワークづくりにつながった。また、市町村教育委員会を開催し、県や県の動向や施策について説明を行って、各委員会に対する共通理解を図った。</p>																		
			評価 基準値 -	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	-	2	3	2			100.0%	2	2
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)														
-	2	3	2			100.0%	2	2														
			(課題) 市町村の社会教育関係職員および社会教育関係者のネットワークをさらに強化し、それぞれの地域での取組推進につなげていく必要があります。	(成果) 市町村社会教育委員会、県・市町村社会教育委員、社会教育関係団体より参加があったことで、他団体の活動について、意見・情報交換を進めることにより、参加者ぞれぞれの意識向上が図られた。																		
			評価 基準値(H24) 130	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H27)</th> <th>目標値(H27)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>130</td> <td>134</td> <td>123</td> <td>340</td> <td></td> <td></td> <td>226.7%</td> <td>150</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)	130	134	123	340			226.7%	150	150
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H27)	目標値(H27)	目標値(H29)														
130	134	123	340			226.7%	150	150														
			今後の取組方針	本年度から初めて、市町村教委、社会教育委員会を始めとした研究会や研修会を開催したが、今後さらに参加者を増やし、各地域に持ち帰り自主的な研修につなげるように、内容の更なるブラッシュアップを検討する。																		
		担当課 生涯学習課																				